

2017年度

中堅・中小企業の新入社員意識調査 結果概要

【調査対象】 東京商工会議所が開催した新入社員研修を受講した中堅・中小企業の新入社員1,042名

【調査期間】 2017年3月31日～4月14日

【有効回答】 1,042名（男性653名、女性388名、不明1名）

【回答率】 100.0%

学歴別受講者分布

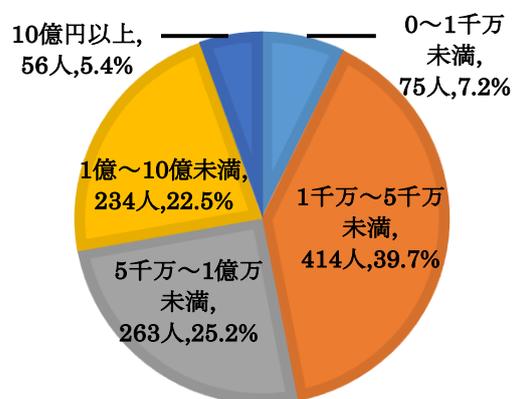
	件数	%
全体	1,042	100.0%
高卒	159	15.3%
高専卒	7	0.7%
専門学校卒	112	10.7%
短大卒	10	1.0%
大学（文系）卒	465	44.6%
大学（理系）卒	183	17.6%
大学院卒	92	8.8%
その他	13	1.2%
不明	1	0.1%

企業規模（資本金）別受講者分布

	件数	%
全体	1,042	100.0%
0～1,000万円未満	75	7.2%
1,000～5,000万円未満	414	39.7%
5,000～1億円未満	263	25.2%
1億～10億円未満	234	22.5%
10億円以上	56	5.4%
不明	0	0.0%

企業業種別受講者分布

	件数	%
全体	1,042	100.0%
小売	31	3.0%
卸売	159	15.3%
製造	260	25.0%
金融	7	0.7%
建設不動産	167	16.0%
資源エネルギー	4	0.4%
貿易	17	1.6%
サービス	172	16.5%
情報産業	165	15.8%
運輸交通	28	2.7%
その他	32	3.1%
不明	0	0.0%



就職歴別受講者分布

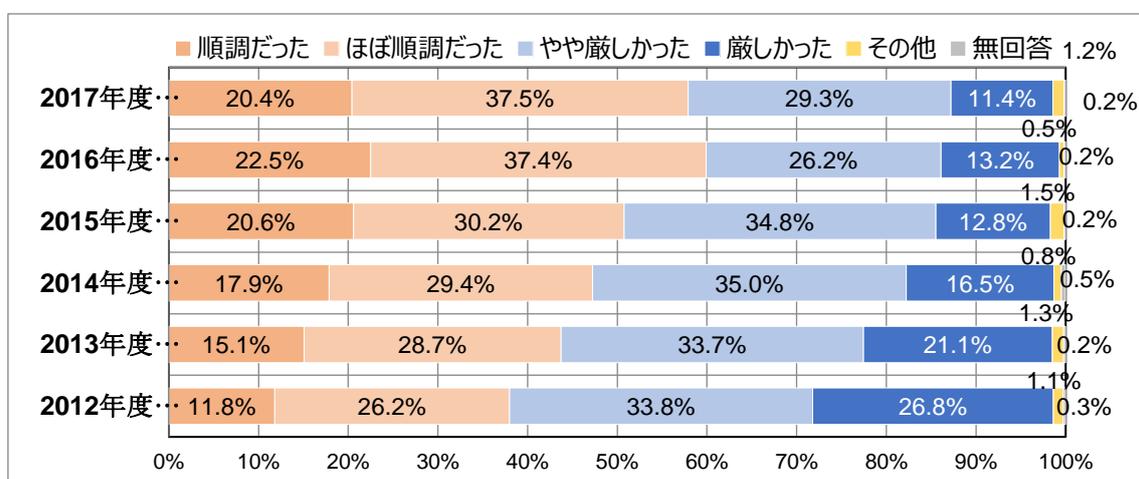
	全体		高卒		高専卒		専門学校卒		短大卒		大学（文系）卒		大学（理系）卒		大学院卒		その他		不明	
	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%
全体	1,042	100.0%	159	100.0%	7	100.0%	112	100.0%	10	100.0%	465	100.0%	183	100.0%	92	100.0%	13	100.0%	1	100.0%
新卒	909	87.2%	134	84.3%	7	100.0%	99	88.4%	6	60.0%	408	87.7%	159	86.9%	87	94.6%	9	69.2%	0	0.0%
既卒（卒業後3年以内）	54	5.2%	6	3.8%	0	0.0%	5	4.5%	1	10.0%	27	5.8%	11	6.0%	3	3.3%	1	7.7%	0	0.0%
中途（就職経験3年未満）	40	3.8%	8	5.0%	0	0.0%	4	3.6%	1	10.0%	18	3.9%	5	2.7%	2	2.2%	2	15.4%	0	0.0%
中途（就職経験3年以上）	29	2.8%	7	4.4%	0	0.0%	1	0.9%	1	10.0%	11	2.4%	8	4.4%	0	0.0%	1	7.7%	0	0.0%
その他	3	0.3%	0	0.0%	0	0.0%	2	1.8%	0	0.0%	1	0.2%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
無回答	7	0.7%	4	2.5%	0	0.0%	1	0.9%	1	10.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	100.0%

1. 就職活動は順調だったか【集計結果 P7～15】

⇒「順調」「ほぼ順調」の回答が6割弱。昨年引き続き、依然として学生の売り手市場が続いている。

○「順調だった」と「ほぼ順調だった」と回答した割合は低下しているものの(昨年度 59.9% →今年度 57.9%)、依然として6割弱に達しており、学生にとって売り手市場の継続が伺える。

○属性別にみると、学歴別では、高卒(78%→82.4%)で回復傾向だった一方で、専門学校卒(79.5%→72.3%)、大学(理系)卒(56.2%→54.1%)、大学院卒(55.1%→51.1%)で悪化傾向だった。また、男女別にみると、男性(60.7%→60.5%)は変動がなかったものの、女性(58.4%→53.9%)は減少し、就職活動はやや厳しく感じたようだ。



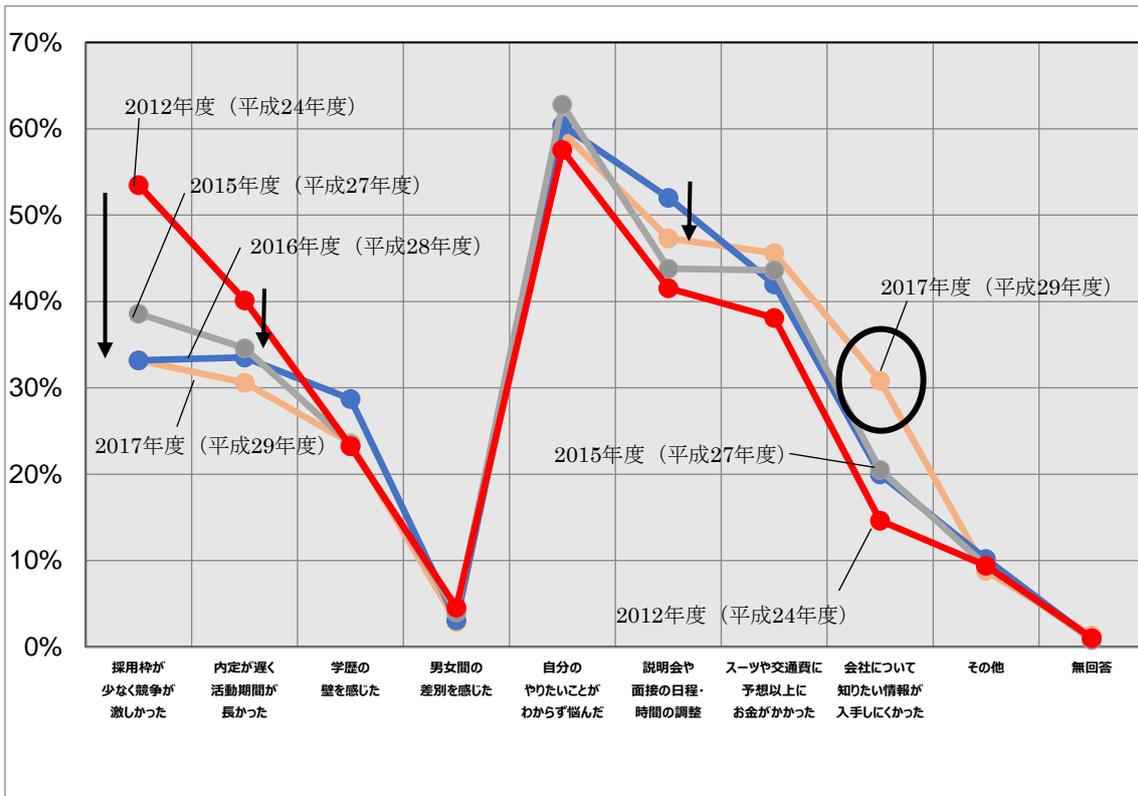
2. 就職活動で苦労したことは何か(3つまで選択)【集計結果 P16～24】

⇒学生の売り手市場化の継続で、就職活動は概ね順調だったが、自己分析で悩む傾向は変わらず。

○「内定が遅く活動期間が長かった」と回答した割合(33.5%→30.6%)が低下している。後述Q6で、活動開始時期が昨年度と変わらぬ結果となり、4月から7月に入社を決めた回答割合が高まったことから、Q1の結果からも見えるように学生有利の売り手市場が、活動の短期化を促したと考えられる。

○「採用枠が少なく競争が激しかった」(33.2%)との回答割合は5年前の(53.5%)と比較して低水準であった。また「説明会や面接の日程・時間調整(50.0%→47.3%)」との回答割合も低下しており、就職活動は順調だったことが伺える。

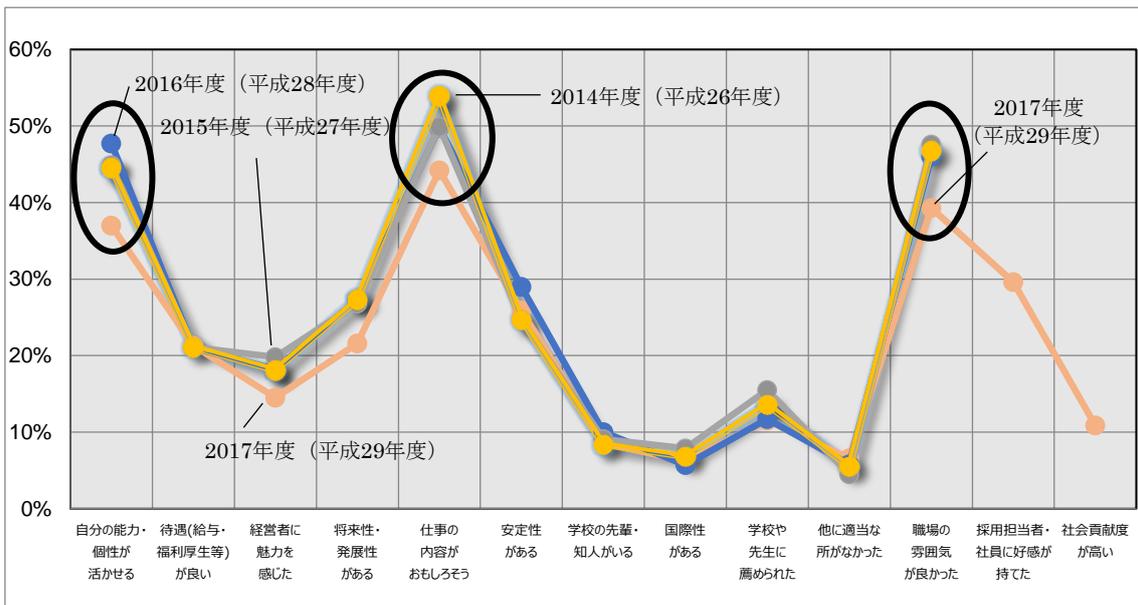
○今年度も「自分のやりたいことがわからず悩んだ」(59.7%)や、「会社について知りたい情報が入手しにくかった」(30.8%)との回答割合が高く、短い就職活動期間内で自己分析を行いながら、自身にとって最適な会社を探すことに苦労したことが見受けられる。



3. 入社した会社を選んだ理由 (3つまで選択)【集計結果 P25～36】

⇒昨年度と上位3つの回答に変動はないが、人間関係を重視した会社選びの傾向も。

○「仕事の内容がおもしろそう」(44.2%)、「職場の雰囲気が良かった」(39.3%)、「自分の能力・個性が活かせる」(37.0%)の上位3回答に変動はなかったものの、次いで「採用担当者・社員に好感が持てた」(29.6%)、「安定性がある」(25.9%)となった。仕事内容や安定的に働けることに加え、人間関係を重視する傾向が見受けられる。

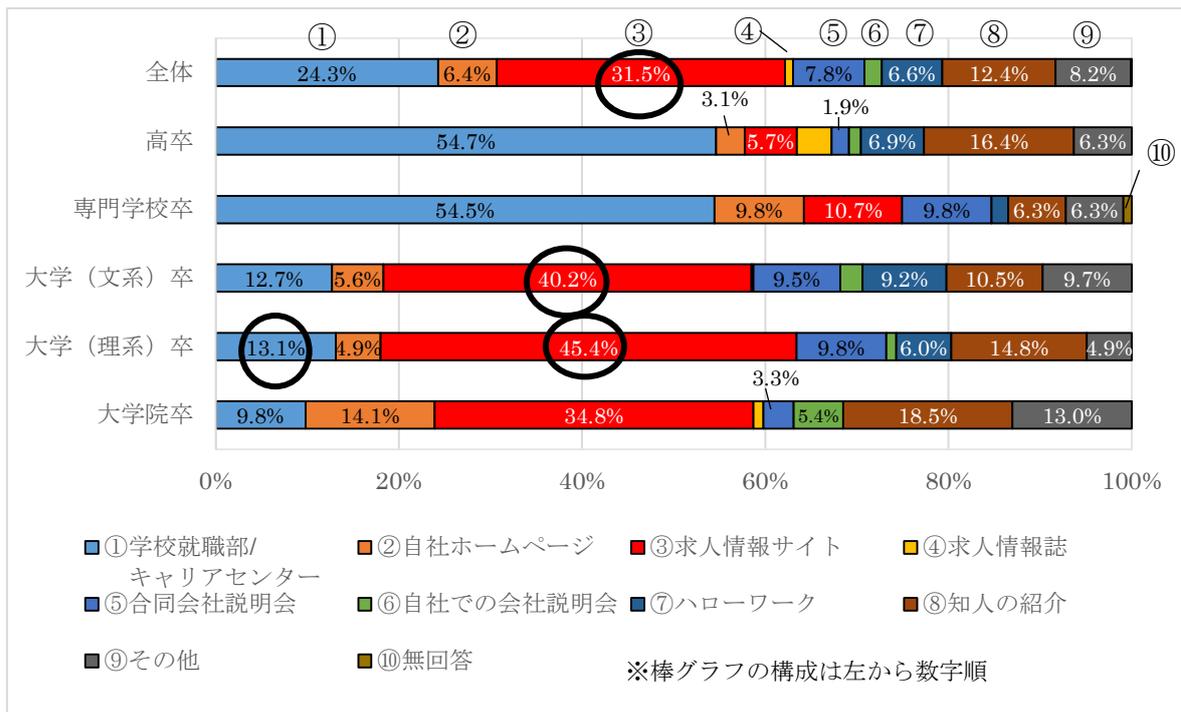


4. 入社した会社をどのように知ったか【集計結果 P37～47】

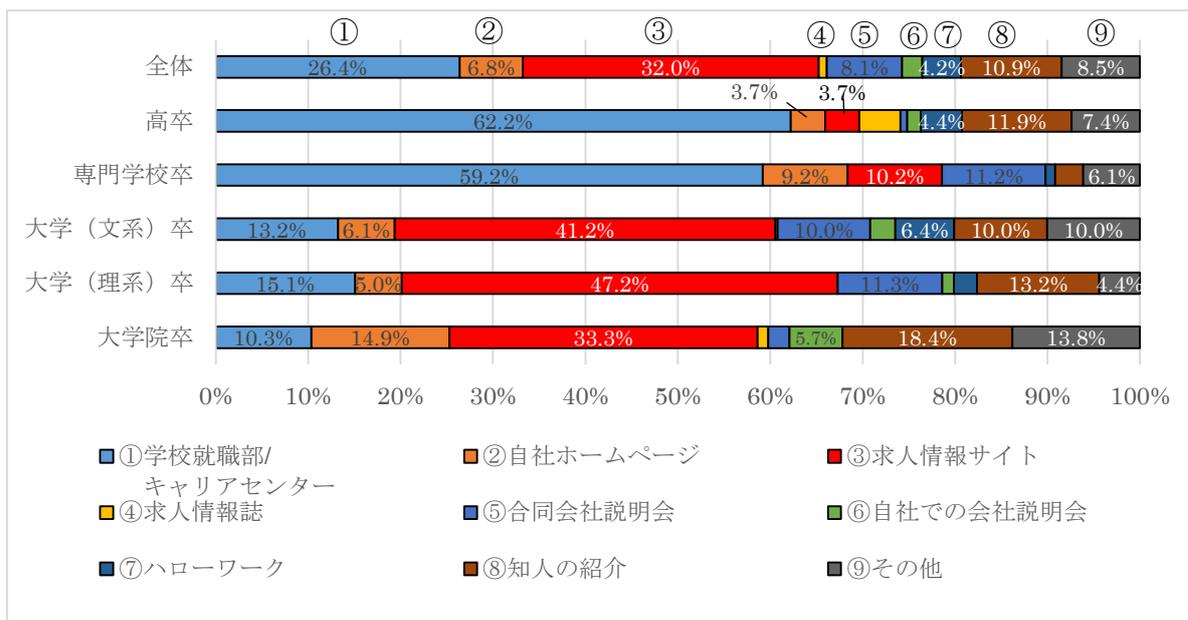
⇒「求人情報サイト」が上位に。「学校就職部／キャリアセンター」の回答割合が低下傾向。

○昨年度に引き続き「求人情報サイト」(31.5%)の回答が最多の結果となった。特に大学卒に関しては、文系(44.1%→40.2%)、理系(38.3%→45.4%)ともに4割を超える回答となった。また、「学校就職部／キャリアセンター」(24.3%)の回答割合は、低下傾向にあり、特に大学(理系)卒(20.4%→13.1%)の低下が顕著だった。

Q. 入社した会社をどのようにして知りましたか(全体回答)



参考：2017年度新卒者のみ

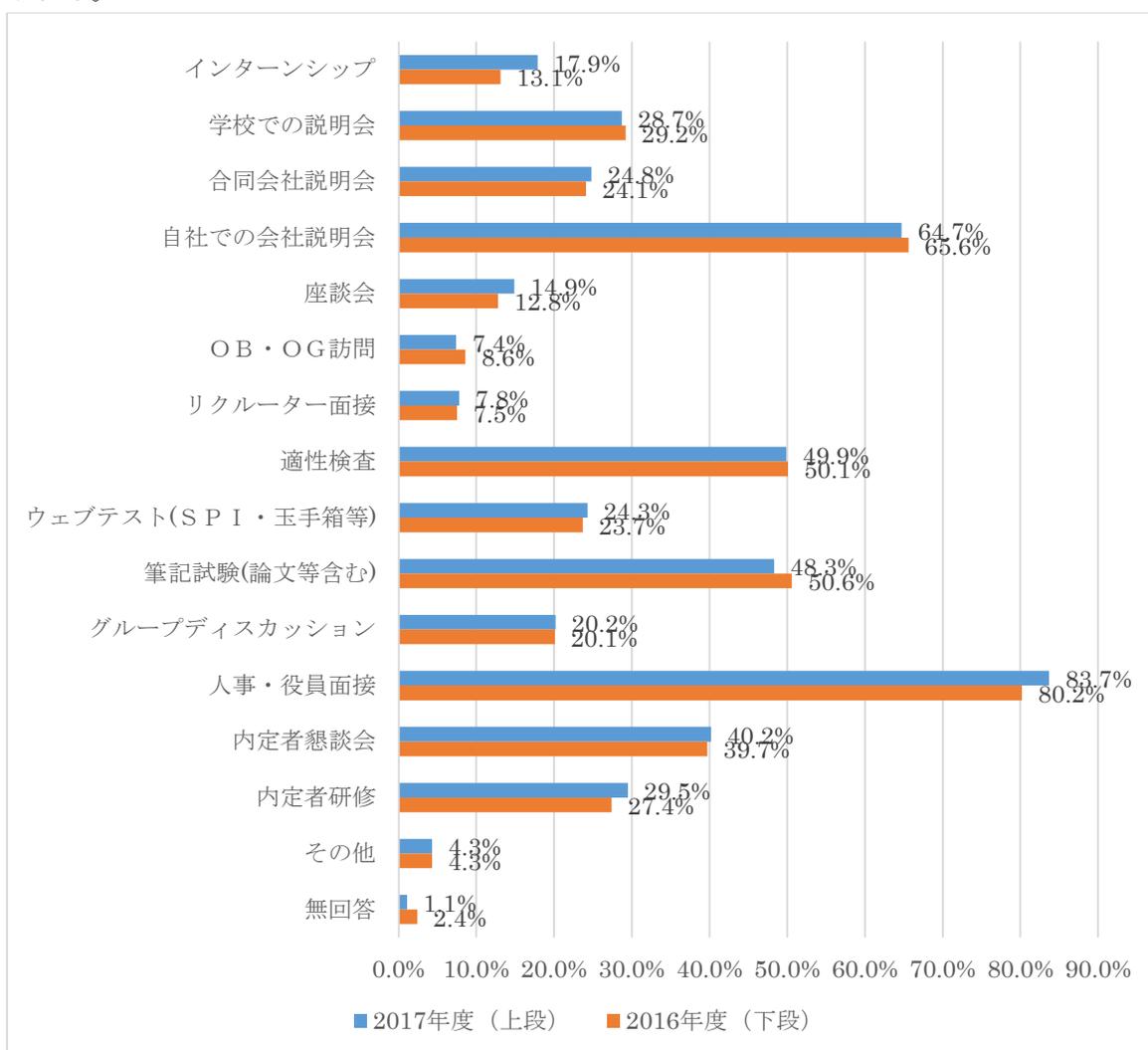


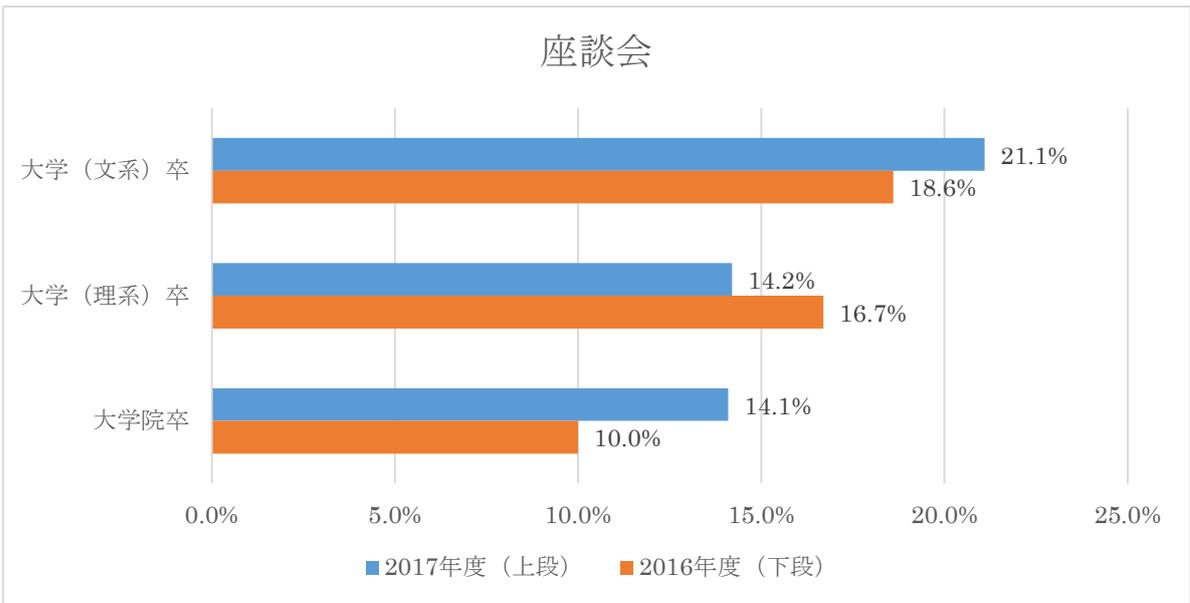
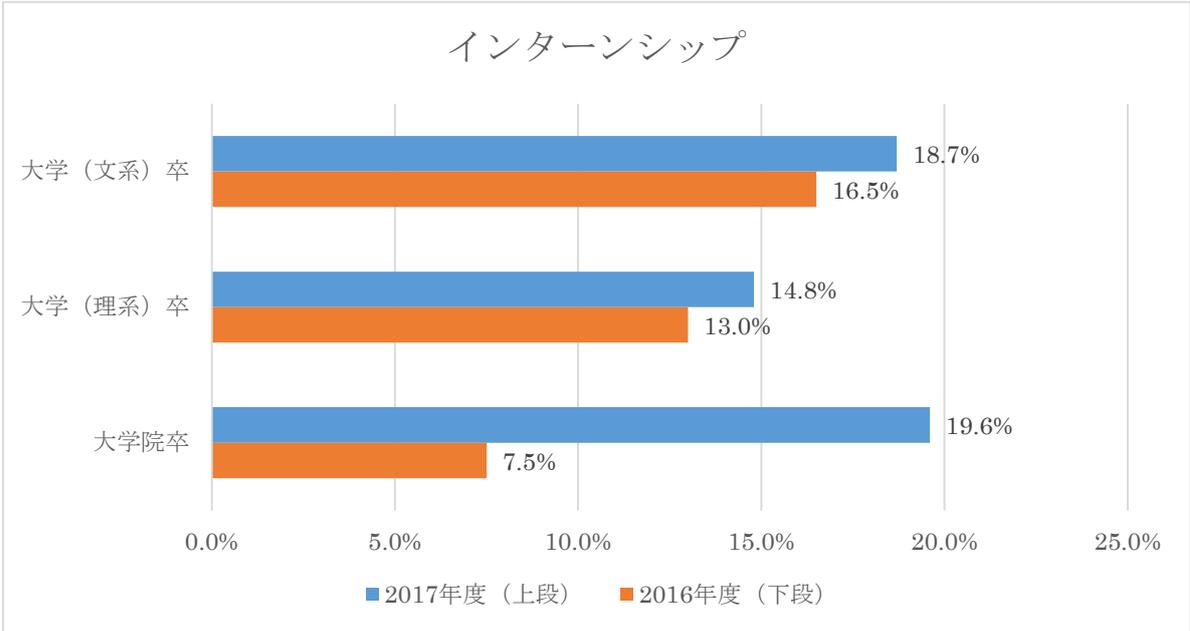
5. 就職活動～入社までに参加・経験したもの（入社企業で）【集計結果 P48～52】

⇒依然、説明会への参加率が高く、双方向型の就職活動への参加は少ないものの、インターンシップ、座談会の割合が昨年度と比べ高まる。また昨年度同様、内定後のフォローで、内定者防止を図る企業努力も見受けられる。

○「インターンシップ」（13.1%→17.9%）、座談会（12.8%→14.9%）の回答割合は上昇傾向にある。学歴別にみると、インターンシップは大学（文系）卒（16.5%→18.7%）、大学（理系）卒（13.0%→14.8%）、大学院卒（7.5%→19.6%）、また座談会は大学（文系）卒（18.6%→21.1%）大学院卒（10.0%→14.1%）の回答が増えた。Q 2、Q 3の結果が示すように、学生は企業側と双方向のやり取りが可能となるイベントに参加し、求人情報サイトだけではわからない会社情報を収集し、職場の雰囲気や採用担当者をはじめとする社員の印象で入社するかどうか判断をしているようだ。

○「内定者懇談会」（39.7%→40.2%）、「内定者研修」（27.4%→29.5%）に参加する率も上昇傾向にあり、内定後のフォローを手厚く行い、内定辞退を防止する企業側の努力も見受けられる。





6. 就職活動の開始と内定の時期【集計結果 P53～81】

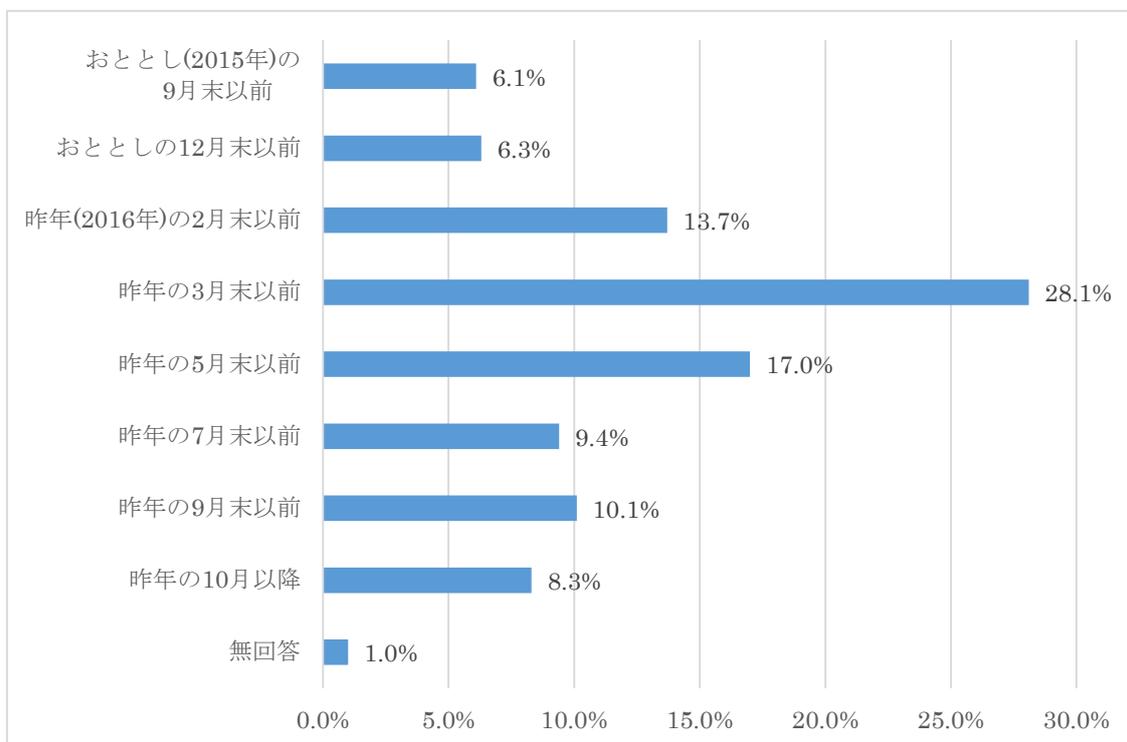
⇒昨年（2016年）の3月以降に始めた人が7割以上。昨年と学生の動き出しは変わらなかった一方で、選考開始時期の前倒しに伴って内定を得た時期は早まり、就職活動は短期化した。

○全体を通してみると、就職活動の開始時期は、7割以上が2016年3月以降（72.9%）となり、昨年度とほぼ変わらなかった。学歴別にみると広報活動開始の3月1日以降に採用活動を開始した回答割合は、大学（文系）卒（70.5%→68.9%）、大学（理系）卒（75.4%→71.1%）ともに低下した。

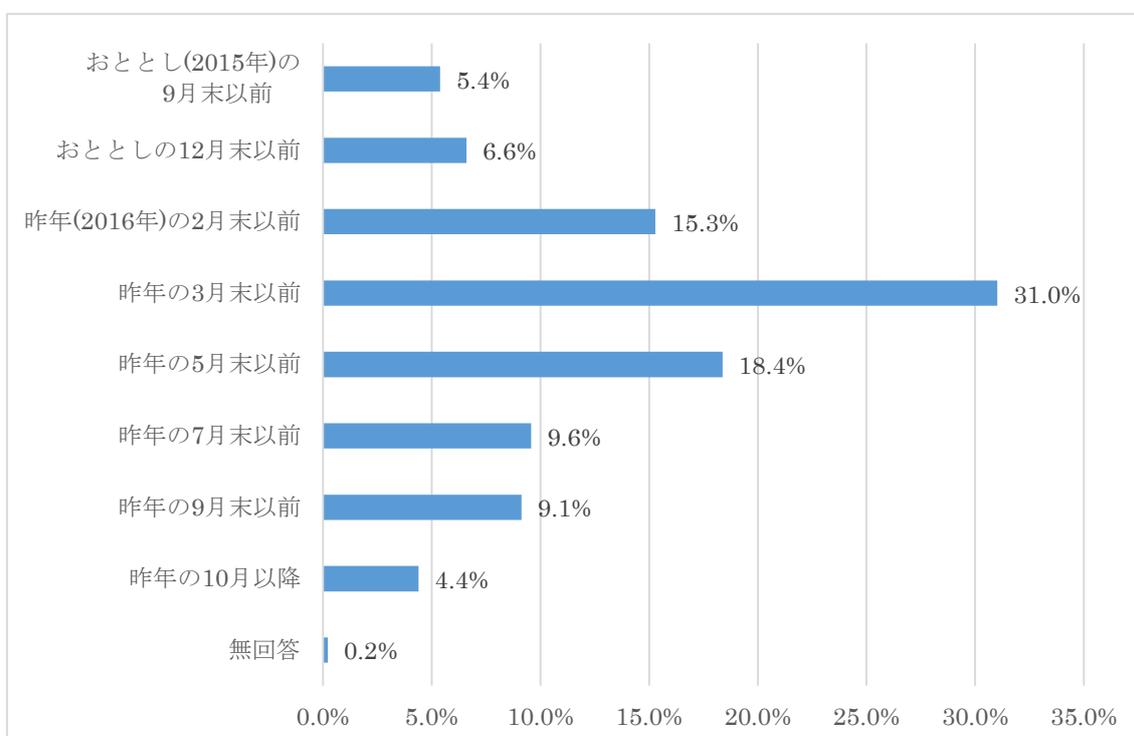
○内定時期については、選考開始日とされる6月1日以前に内定を得た割合（11.0%→13.8%）が上昇した。学歴別でも、大学（文系）卒（9.7%→12.4%）、大学（理系）卒（13.4%→20.8%）、大学院卒（21.4%→27.2%）いずれも高まっている。また6月1日から7月31日の2か月間で内定を得た割合（16.0%→24.5%）も上昇しており、就職活動が短期化した結果が表れている。

○回答者全体で、内定を複数もらった割合（37.4%→40.8%）が上がっており、大学（文系）卒（52.2%→56.3%）は特に顕著だった。

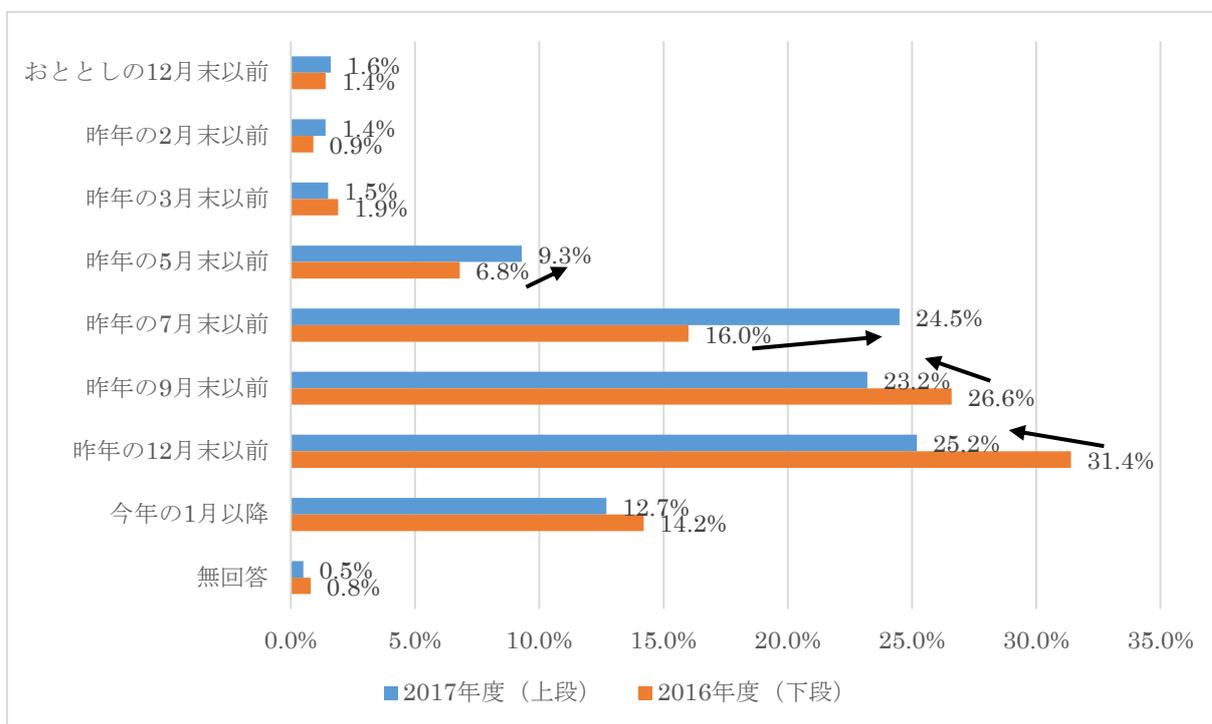
Q. 就職活動の開始時期（全体回答）



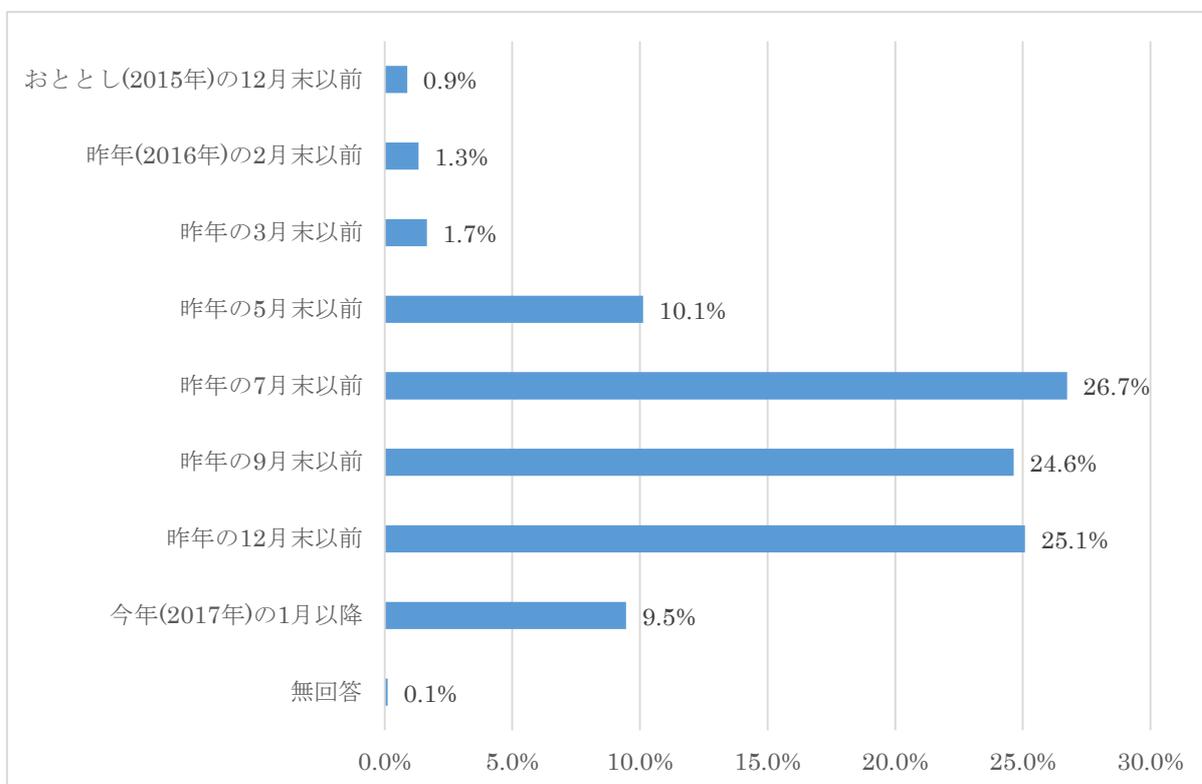
参考：2017年度新卒者のみ



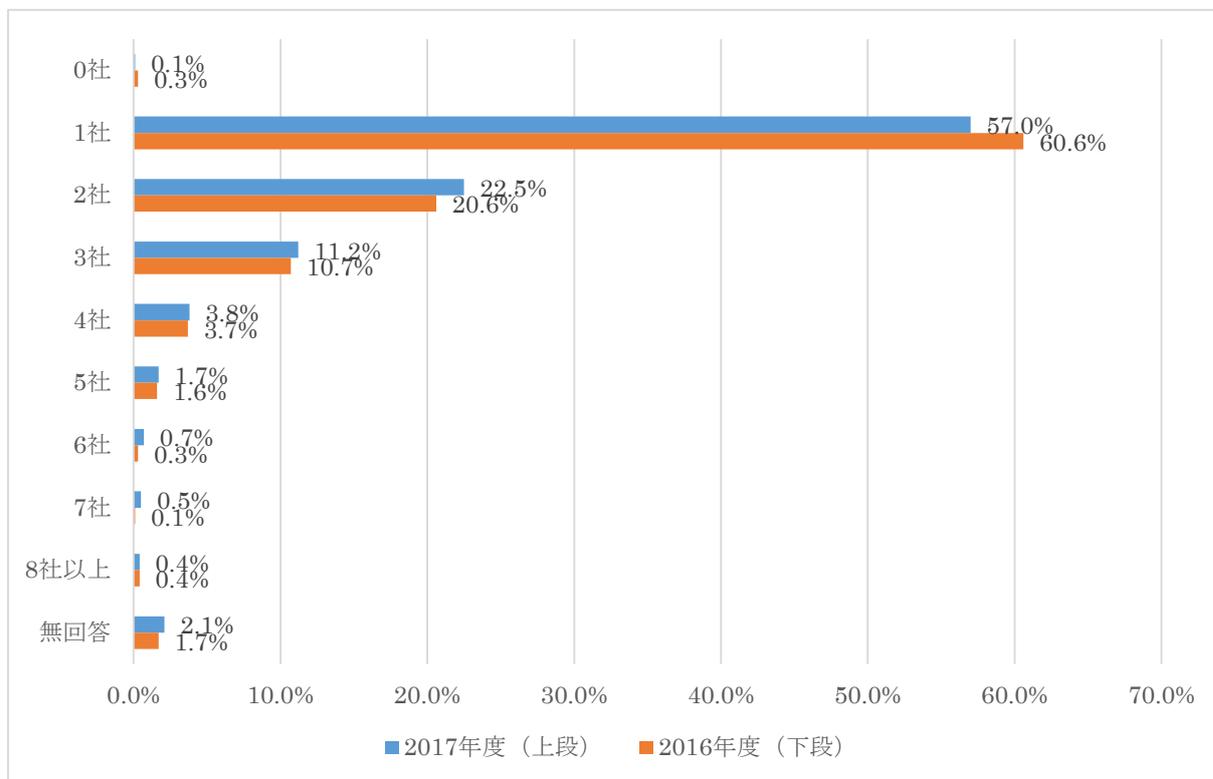
Q. 入社（内定）の決定時期



参考：2017年度新卒者のみ



Q. 内定獲得社数

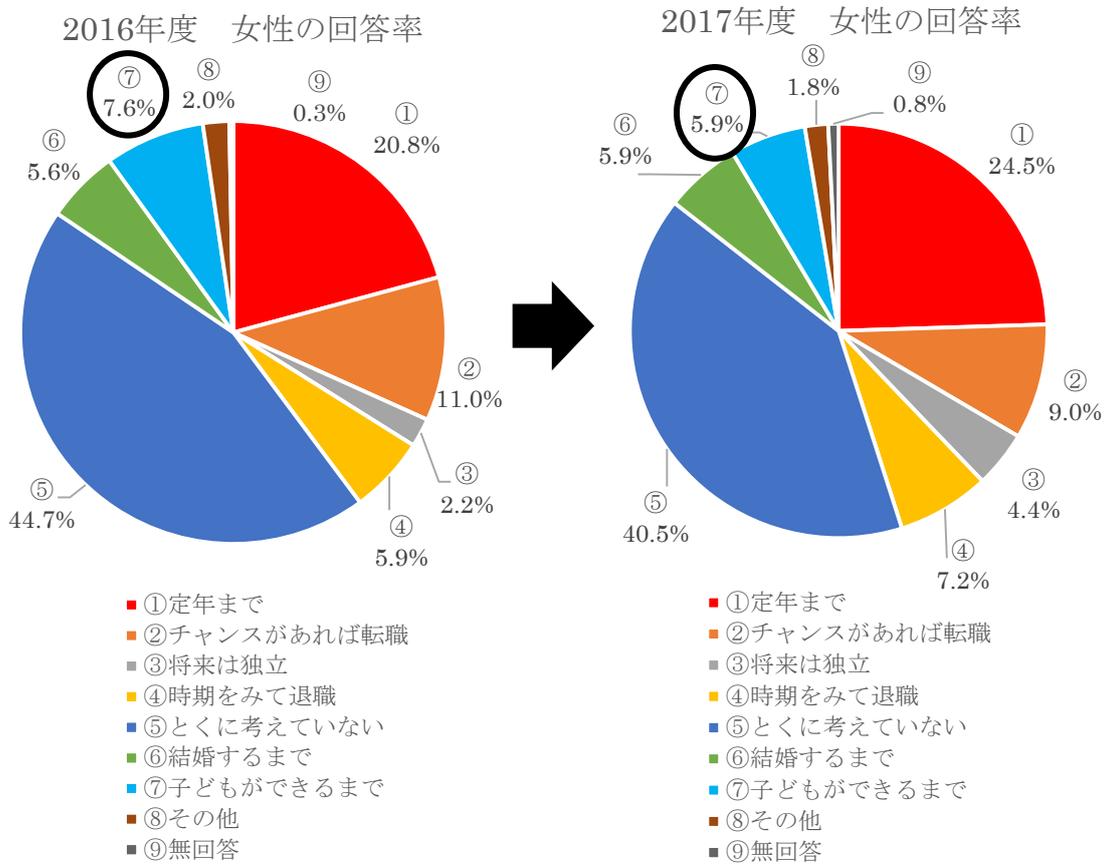


7. 今の会社でいつまで働きたいか【集計結果 P82～90】

⇒「子育て」を退社予定時期と考える女性が減少。

○昨年度に引き続き、全体を通しては「特に考えていない」(39.3%)の回答が最多だった。また、Q3の結果と併せ、安定性のある会社に入社したと見られることから、「チャンスがあれば転職」(11.3%→9.6%)が減少した。

○女性においては、「特に考えていない」(44.7%→40.5%)と「子どもができるまで」(7.6%→5.9%)が微減し、「定年まで」(20.8%→24.5%)が増加した。



8. 仕事をしていく上での不安（3つまで選択）【集計結果 P91～103】

⇒「パソコンなどの情報機器の操作」に不安を感じる割合が上昇傾向。また、男女ともに人間関係に不安を感じている。

○今年度も「仕事に対する自分の能力」（73.2%）と答える新入社員が最多だった。

○「パソコンなどの情報機器の操作」に不安を感じる割合が年々上昇（2013年度 16.5%→今年度 25.0%）しており、スマートフォン、タブレットに慣れ親しんだ世代にとっては、キーボードを使う情報機器の操作に不安を持つ傾向にあるようだ。

